

# 道徳指導法 7

「今、求められている授業とは？」

-指導案づくり-

○授業後にメール(感想)を送ってください。平常点はそれで評価します。

[koyamahi41@gmail.com](mailto:koyamahi41@gmail.com)

○資料は、<https://ouaharoprof.xsrv.jp/info5>に、掲載しています。

# 教材の選択

<https://ouaharoprof.xsrv.jp/info5>

## 中学校教材

①

ネット将棋

出典:文部科学省 中学校道徳 読み物資料集  
出典:文部科学省 私たちの道徳

②

言葉の向こうに.pdf

出典:文部科学省 中学校道徳 読み物資料集  
出典:文部科学省 私たちの道徳

③

卒業文集最後の二行.pdf

出典:教育出版 中学道徳3 とびだそう未来へ

④

田中さんのジレンマ.pdf

出典『道徳性を発達させる授業のコツ—  
ピアジェとコールバーグの到達点—』  
北大路書房

⑤

二通の手紙.pdf

出典:文部科学省 私たちの道徳 中学校

# 1時間目 <https://ouaharoprof.xsrv.jp/info5>

## 1 ネット将棋

須川・石田・北川・佐山

## 2 言葉の向こうに

加守田・川田・幸田・中島(青空)・吉本・真庭・  
中村(碧)・青木・小山内・西木・安澤・福本

## 3 卒業文集最後の二行

山田・伊谷・井ノ口・米野・芝田・田中・長谷川・  
藤並・松本・木原・有本・佐野・中田

## 4 田中さんのジレンマ

高瀬・保田・中村(桃子)

## 5 二通の手紙

眞柳・石川・浦野・飯森・鈴木・中島

## 2時間目

<https://ouaharoprof.xsrv.jp/info5>

### 1 ネット将棋

中野(晃太郎)・池内・石山・中野(光貴)・横山

### 2 言葉の向こうに

廣田・榑野・横谷・石川・西本・吉野

### 3 卒業文集最後の二行

坂本・新網・中迫・松本・安達

### 4 田中さんのジレンマ

幸田・篠原

### 5 二通の手紙

稲沖・堀野・野山・森本・井上・後守・藤田

# 教材研究

- なぜ、その教材を選んだのか
- 気づいたこと、感じたこと  
(どこでそう思ったか?)

# 指導案の書き方

- 道徳科学習指導案の書き方(例)
- 指導案書き方の練習プリント

道徳科学習指導案

平成〇年〇月〇日 第〇校時

〇学年〇学級 生徒(児童)数(人)

指導者 〇〇 〇〇

1 主題名 □□□□□□ (内容項目 A-1 自主・自立 自由と責任)

2 ねらい . . . . . を通して, . . . . . しようとする  
(道徳的判断力 or 道徳的心情 or 道徳的実践意欲と態度) を養う。

3 教材名 『〇〇〇〇』 (出典 )

4 主題設定の理由

○ねらいとする価値について

※「中学校学習指導要領解説 道徳編」に価値項目ごとに説明が記載(左頁)されているので、それを参考にしながら、教師としてその価値をどう捉えているのかを書く。

○生徒の実態について

※ねらいに照らし合わせた生徒の実態、今までの学級活動での指導との関連等、ここでは自分がこれまで関わったクラス等を想定して書く。上記同様、「中学校学習指導要領解説 道徳編」に価値項目ごとに説明を参考(右頁)に、以下のような言葉を使って書いてみてください。

「本学級の生徒は . . . 」(道徳性におけるよさ)、「しかし . . . 」(道徳性における課題)。  
「これは . . . 」(児童・生徒の実態の分析と考察)。「そこで、本教材を通して、 . . . について考える機会としたい。」(本授業でねらうこと)

○教材について

※上記同様、以下のような言葉を使って、教材のあらすじの概要及び、その教材のよさについて、書いてみてください。

「本教材は . . . 」(教材の概要)  
「本主題の指導にあたっては . . . 」(ねらいに関わる中心的な活動)

5 本時のねらい

※ここは、本授業での「小さなねらい」。教材の中のことば等を用いながら、具体的にこの教材のどこをきっかけに、何を生徒に考えてもらいたいのかを短く端的に明記する。

主に学習指導要領解説を使えば可能

ねらいに関わって

資料を参考

# 授業の流れ(学習活動・発問・反応)

中心となる場面について考える  
↓  
自分ならどうしようするか等

## 6 本時の展開

|    | 学習活動・発問と予想される生徒の反応  | 指導上の留意事項   |
|----|---|--|
| 導入 | <p>◎<u>道徳的価値の自覚に向けて、動機付け(方向付け)を図る段階の活動内容・発問を書く</u></p> <p>(ねらいとする価値にかかわるアンケート結果、日常での課題)</p>   |  |
| 展開 | <p><b>中心発問・補助発問</b></p> <p>※<u>発問、および発問に対して想定される生徒(児童)の反応を書く</u></p> <p>※<u>ネットにいくつか、指導案</u>が掲載されています。丸写しにならないよう参考にして、自分なりに考えた発問(子どもへの質問)と、それに対する子どもの反応を書いてください。</p> <p>※<u>中心発問(教師が本教材で中心となる一番考えてほしいこと)</u><br/>中心発問の前に生徒が考えやすいよう、その前提となる準備の発問(補助発問)をする。</p> <p>※<u>全体よりもグループでの交流が中心</u></p> | <p>※意見をまとめるのではなく、多様な意見を出すことが大切。結論として、同種の意見であっても、その理由には違いがあるので、自分の思いを自分の言葉で語らせたい。</p> <p>※座席の工夫、小グループによる話し合い活動(ペア、グループでの交流)によって、多様な思いや考えを交流する。→全体では発表に抵抗がある生徒でも、少人数なら語りやすい。</p> |
| 終末 | <p>◎<u>授業を通して自分が考えたこと、友達の見解を聞いて感じたこと・考えたことについて「書く」活動を取り入れたり、実践への意欲付けをしたりする。</u></p> <p>・この授業を介して気づいたことや考えたことを書かせ、それを交流し合うことによって、多様な考えを知る。</p> <p>・主人公に手紙を書く、保護者や地域の方からの手紙を読む、授業中の生徒の発言や好ましい態度等、授業を通して気づいたことを授業者から話す。しかし、教師がねらいとする価値にむけてまとめることはしない。すなわち、価値の押し付けになることは避ける。</p>                  | <p>※これからの自分の生き方や生活にかかわって、課題意識や自分への問いかけを持てるようにする。</p> <p>※価値の押し付けにならないようにし、余韻を残して終わることが大切です。</p>  |

## 7 評価の観点

(例)

- ・道徳的価値について、自分自身とのかかわりで考えようとしている。
- ・自分とは異なった他者の考えをよく聴き、受けとめようとしている。

## ねらいの達成を評価

本時について内省する

資料を参考にして検討すれば可能



# 道徳性の諸様相(道徳性の捉え方)

中学校P.17~18(小学校P.20~21)

## ○道徳的判断力

それぞれの場面で善悪を判断する能力

## ○道徳的心情

道徳的価値の大切さを感じ取り、  
善を行うことを喜び、悪を憎む感情

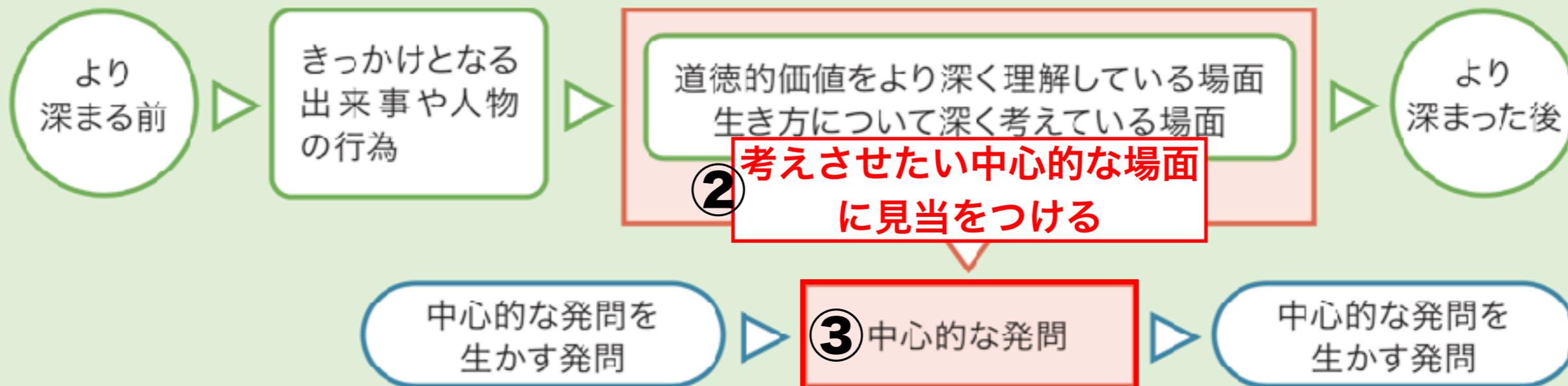
## ○道徳的 実践意欲態度

道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし、  
道徳的価値を実現しようとする  
意志の働きと道徳的行為への身構え

# 教材を吟味する

## ① 教材を読み込む

【読み物教材の分析】 ～登場人物の道徳的価値の理解の深まりを見てみると～



【発問づくり】 ～発問の具体例は～

- 「自分だったらどう考えるだろう」
- 「自分だったらどうしただろう」
- 「なぜ～したのだろう」
- 「こんなとき、どうすればよいのだろう」

- 「なぜ～は大切なのだろう」
- 「～のことをどう思う」
- 「どうして～できたのだろう」
- 「何が問題になっているのだろう」

など

メール(感想文)で平常点にします。

○締め切りは本日の24時まで

○下記のメールアドレスまで

[koyamahi41@gmail.com](mailto:koyamahi41@gmail.com)

○本文には

- ・「学生番号・名前」
- ・「授業の感想文100文字程度」

○必ず件名には

「科目番号・科目名・日付」を記入